

経営戦略収支計画と平成31(2019)年度予算(案)との関係

会計名：電気事業

(単位：百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

		平成31(2019)年度		差 額	理 由	
		計画額	予算額			
計画業務量	年間供給電力量(単位:MWh)	253,000	229,953	▲ 23,047	・足尾発電所主要機器内部点検修繕工事、川治第一発電所主要変圧器更新工事等による発電停止	
収益的 収 支	収 入	料金収入	2,558	1,968	▲ 590	・供給電力量の減
		その他収入	67	108	41	・とちぎふるさと電気の収益の増
		(計)	2,625	2,076	▲ 549	
	支 出	人件費	455	461	6	
		減価償却費	484	440	▲ 44	
		修繕費	444	202	▲ 242	・足尾発電所主要機器内部点検修繕費用の減
		その他支出	910	923	13	・とちぎふるさと電気の一般会計操出金の増
		(計)	2,293	2,026	▲ 267	
	経 常 損 益		332	50	▲ 282	
	資本的 収 支	収 入	借入金	455	350	▲ 105
その他収入			4	1	▲ 3	
(計)			459	351	▲ 108	
支 出		建設改良費	1,439	648	▲ 791	・国計画延期に伴う佐貫頭首工工事の先送り
		借入金償還金	189	190	1	
		その他支出	12	45	33	・地域貢献事業の増
		(計)	1,640	883	▲ 757	
差 引		▲ 1,181	▲ 532	649		

電気事業〔企業局 経営戦略実施計画〕

項目	取組	平成31(2019)年度取組予定
電力の安定供給	○ダム耐震性能照査 (小網ダム、庚申ダム)	—
	○川治第一発電所電気設備更新工事	▶川治第一発電所主要変圧器更新工事
	○川治第二発電所電気設備更新工事	—
	○足尾発電所電気設備更新工事	▶ 调速機更新工事 ▶ 水車制御盤更新工事
	○足尾発電所内部点検	▶ 水車分解点検修繕 ▶ 発電機分解点検修繕 ▶ 諸機械装置分解点検修繕 ▶ 試験調整
	○深山発電所内部点検	▶全面改修の内容検討 ▶改修スケジュール作成 ▶平成32(2020)年度予算に実施設計業務委託を計上
	○風見発電所全面改修 (FIT認定)	▶主要機器製作据付工事 ▶主要機器撤去工事、土木設備工事、発電所建屋建築工事を合算して発注 ▶水圧鉄管更新工事発注
	○保安訓練・防災訓練	▶ダムを対象とした洪水対応演習(5月 実施予定) ▶ダム放流危険箇所合同巡視(7月 実施予定) ▶事故故障発生時の対応訓練(実施予定) ▶発電所、ダムの油流出対応訓練(実施予定)
	○その他	▶庚申ダム予備発電装置更新工事 ▶板室発電所計器用変成器更新工事
水力発電の推進	○大下沢発電所建設 (FIT認定)	—
	○五十里発電所建設 (FIT認定)	▶主要機器製作据付工事 ▶遠方監視制御装置据付工事 ▶平成31(2019)年10月に運転開始予定
	○小百川発電所建設 (FIT認定)	▶主要機器製作据付工事 ▶土木設備工事 ▶取水口ゲート等製作据付工事 ▶2020年3月に運転開始予定
	○風見発電所全面改修 (FIT認定)	▶主要機器製作据付工事 ▶主要機器撤去工事、土木設備工事、発電所建屋建築工事を合算して発注 ▶水圧鉄管更新工事発注
	○新規開発の事業化検討	▶水力開発可能地点調査
経基強	営の化 ○固定価格買取制度の適用等による安定した収入の確保	▶五十里発電所が平成31(2019)年10月から運転開始予定 ▶小百川発電所が2020年3月から運転開始予定 ▶2020年度以降の売電契約内容の検討、売電先の選定
人育	材成 ○技術承継、研修の充実、資格取得支援	▶内部研修の実施・外部研修への派遣等
環対	境策 ○高効率・省エネ機器の導入	▶今市発電管理事務所内照明のLED化工事
		○その他

平成30(2018)年度の取組状況(12月31日現在)	備 考
-	・ダム耐震性能照査は平成28年度に実施済、両ダムとも耐震強度は十分との調査結果
▶川治第一発電所主要変圧器及び調速機盤更新工事	・川治第一発電所主要変圧器は、平成30(2018)年度～平成31(2019)年度の継続事業
-	・川治第二発電所主要変圧器更新工事を平成28年度に実施済
▶足尾発電所送電線遮断器等更新工事	-
-	-
▶オーバーホールと固定価格買取制度(FIT)を適用した全面改修を比較検討	・深山発電所は、平成32(2020)年度に主要機器内部点検(オーバーホール)を実施する予定だが、固定価格買取制度を適用した全面改修の可能性も比較検討する。
▶土木設備(既設導水路)を再利用した全面改修の検討を開始	
▶実施設計業務委託(平成29(2017)年度～平成30(2018)年度継続費・平成31(2019)年度まで延長予定)	・平成27(2015)年2月13日に固定価格買取制度の認定
▶主要機器製作据付工事発注(平成30(2018)年9月)	・平成30(2018)年度～平成35(2023)年度(継続費)で全面改修
▶今後の工事発注方法について検討	・平成35(2023)年4月運転再開予定
▶ダムを対象とした洪水対応演習(5/11実施)	-
▶ダム放流危険箇所合同巡視(6/26実施)	-
▶事故故障発生時の対応訓練(1/11、1/16実施)	-
▶発電所、ダムの油流出対応訓練(12/17実施)	-
▶川治第一発電所発電機本館屋根天井部修繕工事	-
▶佐貫ダムのゲート設備点検	-
▶板室発電所予備電源設置工事	-
-	・平成30(2018)年1月完成
▶主要機器製作据付工事	・平成30(2018)年度内の完成を予定していたが、国土交通省発注工事の優先施工に伴い、現地工事の施工時期を調整したことから、約半年遅れる見込み。
▶維持放流設備等製作据付工事	・建設工事は平成31(2019)年度まで繰り越し
▶遠方監視制御装置据付工事	・平成30(2018)年度内の完成を予定していたが、工法等の見直しの必要が生じたことから、平成30年度2月補正予算で継続費の補正を行うとともに、事業年度を平成31(2019)年度まで延長
▶受変電室建屋工事	-
▶実施設計業務委託(平成29(2017)年度～平成30(2018)年度継続費。平成31(2019)まで延長予定)	・平成30(2018)～2023年度(継続費)で全面改修
▶主要機器製作据付工事発注(平成30(2018)年9月)	・2023年4月運転再開予定
▶今後の工事発注方法について検討	-
▶可能性調査(1箇所)	-
▶風見発電所運転再開後のFIT適用による経常利益の処分について検討	・電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(通称FIT法)等の一部を改正する法律が成立し、平成29年4月から施行
▶2020年度以降の売電契約内容の検討	-
▶内部研修の実施・外部研修への派遣等	-
▶今市発電管理事務所内照明のLED化工事	・平成30(2018)年度と平成31(2019)年度の2年に分けて実施
▶「とちぎふるさと電気」を販売開始、8社(10事業所)に供給	・「とちぎふるさと電気」は、県内事業者にCO ₂ フリーの環境付加価値分を上乗せした電気を販売し、その収入で環境保全事業等を実施
▶環境森林部において、「再生可能熱利活用促進事業」「省CO ₂ 設備導入補助事業」を実施	

「とちぎふるさと電気」によるプレミアム価格分の活用について

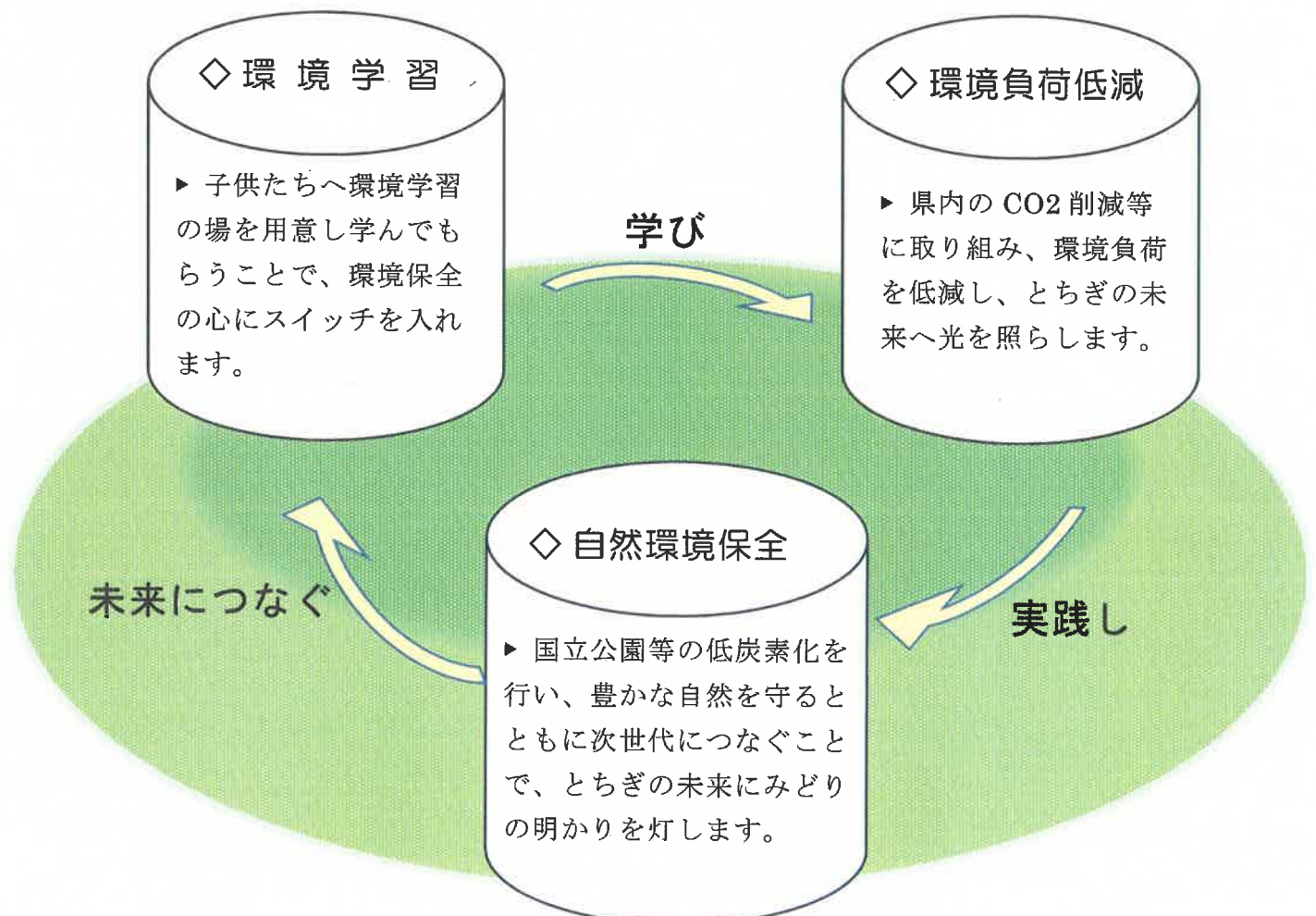
「とちぎふるさと電気」のプレミアム価格分は、“とちぎの未来にみどりの明かりを灯す”のコンセプトの下、「環境学習」、「環境負荷低減」、「自然環境保全」に活用します。

とちぎの未来にみどりの明かりを灯す

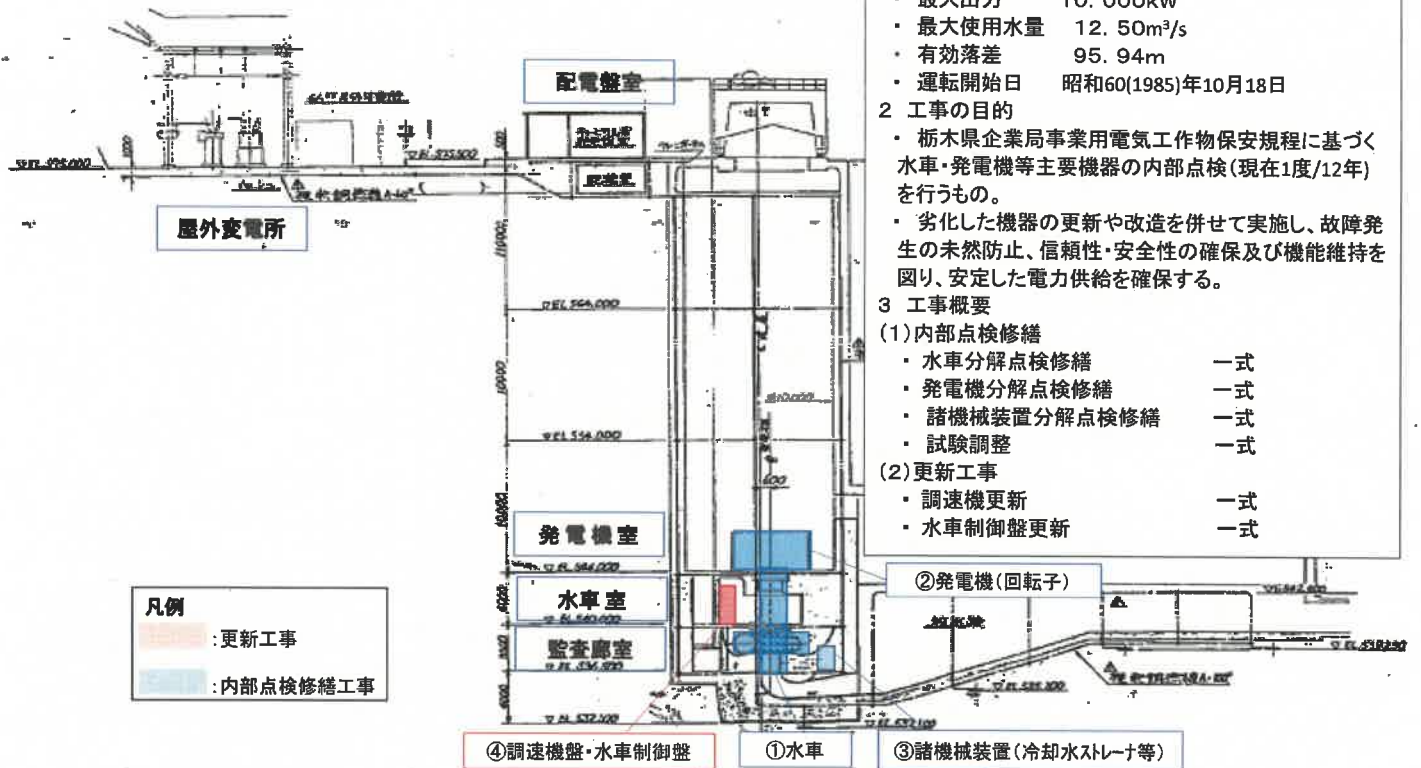
「とちぎふるさと電気」

とちぎふるさと電気を購入いただいた企業の思いを受け、プレミアム価格分についてはCO2削減につながる事業を実施することにより、未来を担う子供たちへ本県の豊かな自然を継承するために役立てます。

このため、「環境学習」「環境負荷低減」「自然環境保全」の3本柱を「学び」「実践し」「未来につなぐ」サイクルで結び、とちぎの未来にみどりの明かりを灯します。



足尾発電所主要機器内部点検修繕等工事について



- 1 発電所概要
 - ・ 最大出力 10,000kW
 - ・ 最大使用水量 12.50m³/s
 - ・ 有効落差 95.94m
 - ・ 運転開始日 昭和60(1985)年10月18日
- 2 工事の目的
 - ・ 栃木県企業局事業用電気工作物保安規程に基づく水車・発電機等主要機器の内部点検(現在1度/12年)を行うもの。
 - ・ 劣化した機器の更新や改造を併せて実施し、故障発生の未然防止、信頼性・安全性の確保及び機能維持を図り、安定した電力供給を確保する。
- 3 工事概要
 - (1)内部点検修繕
 - ・ 水車分解点検修繕 一式
 - ・ 発電機分解点検修繕 一式
 - ・ 諸機械装置分解点検修繕 一式
 - ・ 試験調整 一式
 - (2)更新工事
 - ・ 调速機更新 一式
 - ・ 水車制御盤更新 一式

